

サラワン県病院における妊婦健診受診状況と出産状況に関する研究のお知らせ

ラオス サラワン県病院では以下の研究を行います。

本研究は、ラオス倫理委員会および帝京大学倫理委員会（日本）の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2017年8月2日 ～ 2018年3月31日

〔研究課題〕 妊婦健診の受診回数と低出生体重児の関連
ラオス サラワン県病院におけるケースコントロールスタディ

〔研究目的〕 妊婦健診の受診状況と、生まれてきた赤ちゃんの体重の関連を調査します

〔研究意義〕 妊娠初期からの継続ケアの重要性を根拠付けします

〔対象・研究方法〕 2016年8月～2017年7月にサラワン県病院で出産した方を対象として、生まれてきた赤ちゃんの体重や、出産に至るまでの妊婦健診の受診状況を調査します。他に、分娩時期、年齢、既往分娩回数、村、宗教、民族、健康保険の種類、分娩方法、出産週数、赤ちゃんの性別などの情報も、研究で利用します。妊娠28週未満で流産になった方や、県外に在住する方は対象になりません。

〔研究機関名〕 帝京大学大学院 公衆衛生学研究科

〔個人情報の取り扱い〕 日本の研究者が、サラワン県病院内で分娩台帳・妊婦健診台帳からデータの抽出を行います。対象となる方の名前や年齢、住所などが特定されないよう、一人ひとりに番号を決めて情報管理します。匿名化された情報は、日本の帝京大学に持ち込まれ、解析作業が行われます。研究結果を論文として発表する際にも、皆さんの名前や年齢、住所などが開示されることは一切ありません。

〔その他〕 この研究において、研究者は特定の企業や団体から資金援助を受けていません。

対象となる方で研究への情報の使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 帝京大学大学院公衆衛生学研究科 准教授 高橋謙造

ラオス側連絡先： サラワン県病院看護部 副看護部長 Mrs. Khantaly Kheomanikhanxay

電話番号: +856-20-9739-6123

日本側連絡先： 帝京大学大学院公衆衛生学研究科 永谷紫織

E-mail : sph-snagatani@med.teikyo-u.ac.jp

住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1

電話番号： +81-3-3964-1211（代表） [内線 46210]